



院内感染対策ニュース

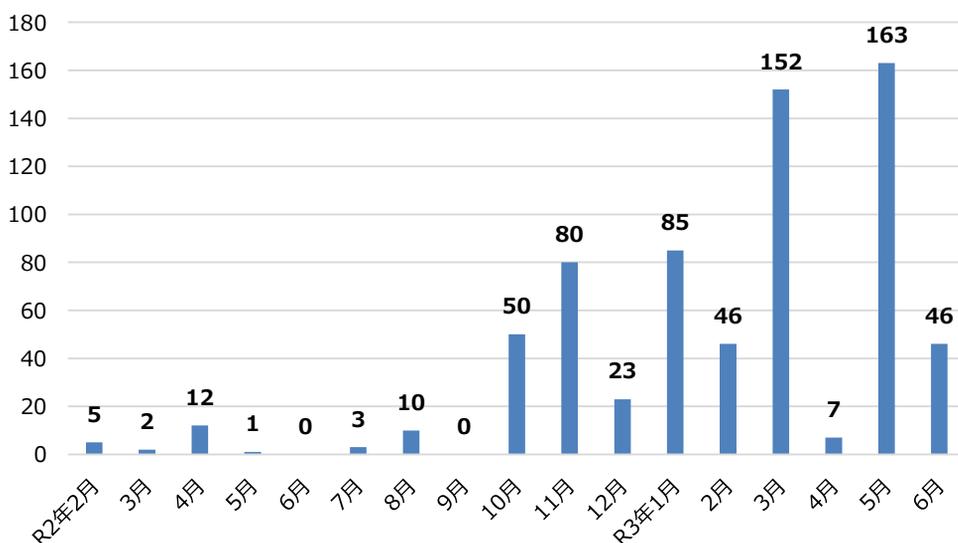
第92号 2021年6月16日
院内感染対策委員会

釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況

釧路管内の感染状況について毎月お伝えしてきましたが5月は陽性患者発生が最も多くなっているようです。全国的に変異株も増えており、今までより陽性になるまでの期間が長くなっているように感じます。まだまだ、安心できない状況ですね。最新情報と変異株について取り上げます。

釧路管内 COVID-19発生件数

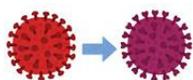
6/13現在



昨年2月以降、釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況としては過去最高数になっています。ゴールデンウィークから患者が急増しクラスターも複数発生しました。医療機関のクラスターも発生しており、まだ終息には至っておりません。患者の年齢層で見ると20～40代の患者が増加しています。この年代は就業している年代でもあり職場内感染や家族内感染の増加につながります。また、最近では複数の変異株が報告されており、まだまだ落ち着く気配がないように感じます。

変異株とは？

新型コロナウイルスは国内でもいくつかの変異株が見つかっています。約2週間に1か所程度の速度で変異していると考えられています。特に注目されている変異株は「**英国型：N501 Y**」と「**ブラジル型・南アフリカ型：E484K**」です。**英国型**は関西地方で多く発見されているようですが感染力が強いとされています。一方、**ブラジル型・南アフリカ型**は感染力の強さは不明ですが抗体やワクチンの効果を低下させる可能性があるといわれ、警戒されています。この変異株は東京などで多く発見されています。北海道でこれまで発表されている変異株は「**英国型**」です。今後の変異株の報告状況にも注目していかなければなりません。



変異株に対する対策は？

変異株は感染性の強さやワクチンの効果を低下させる可能性などが言われていますが、**感染対策はこれまでと同様**です。



緊急事態宣言

緊急事態宣言は6月20日まで延長が決定になりました。これまで同様、不要不急の外出は控えましょう。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

5月はゴールデンウィーク以降、患者が急増し北海道でも道央を中心に患者が増えて過去最高の500名以上の陽性者が発生しました。釧路管内だけでなく、根室や十勝でも患者は増加しています。今後も最新の情報をご確認下さい。検査を受けた方は、結果が出るまでは外出せず、ご自宅でお待ちください。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所、北海道相談センター等にご相談下さい。受診に際してはこれまで通り、直接医療機関へ赴くことは控えて下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

次回も
楽しみに！